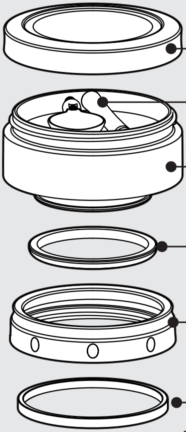
フードポット スプーン&容器付き
取扱説明書 CDBSO300

このたびは当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この製品は家庭用です。飲料物の保温、保冷以外には使用しないでください。
また、業務用として使用しないでください。
ご使用前に、この取扱説明書をよく読んでから使用してください。お読みになった後も、いつでも見られるように大切に保存してください。

フードポット

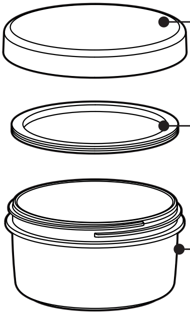
せんユニット



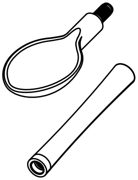
※お買上げ時、パッキン類は装着済みです

≪注意≫
はじめてご使用になる前に、確実に装着されていることをご確認ください。

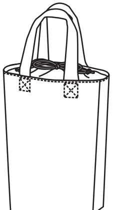
おかず容器



スプーン



専用バッグ



説明書中のイラストは実際のものと異なる場合があります。また品質向上・改良のため、予告なく仕様・デザイン等を変更することがありますのでご了承ください。

おかず容器のふたとフードポット本体は電子レンジで使用できません。

ご使用になる前に

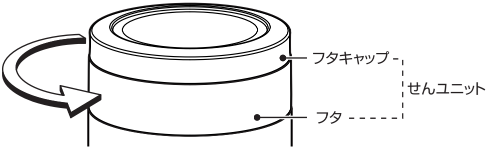
- ●はじめてご使用になる前に、各部品・フタ・スプーンに傷・凹み、ひび割れなどの不具合がないことをご確認ください。
- ●本体にシールが貼ってある場合は、シールをはがしてからご使用ください。但し、本体に貼ってある注意シール・底面の製造ロットシールははがさないでください。
- ●はじめてご使用になる時は、本体内側・せんユニットを食器用洗剤をつけたスポンジ等でよく洗ってください。
- ●品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合は、ご使用にならないで、お買い求めのお店または当社お客様相談室までご連絡ください。

D150330

ご使用方法

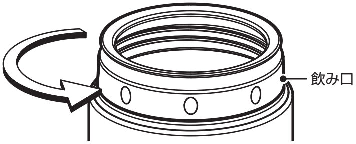
1 せんユニットをはずします。

せんユニットを矢印の方向に
まわしてはずしてください。



2 飲み口をはずします。

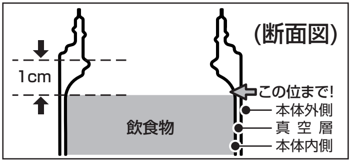
飲み口を矢印の方向にまわしてはずしてください。



3 飲食物をいれます。

飲食物の量は右記図の位置までにしてください。
入れすぎると、せんユニットを閉めたときに
飲食物が溢れ出る原因になります。

**本体に少量の熱湯(冷水)を入れ、数分間
予熱(予冷)すると保温(保冷)に効果的です。**

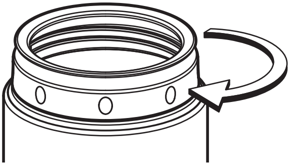


※フタパッキン・飲み口パッキンは必ず正しく
取りつけているか確認をしてください。

4 飲み口をつけます。

飲み口を矢印の方向にまわして、確実に閉めてください。

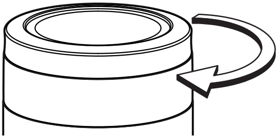
注 飲み口パッキンが取り付けてあることを必ず確認してください。



5 せんユニットを閉めます。

本体を立てた状態で、せんユニットを矢印の方向にまわして
確実に閉めてください。閉めた後は、フタが確実に閉まって
いることを確認してください。

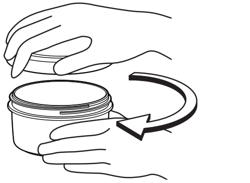
注 せんユニットを閉めるときは、本体を傾けたり揺らしたりしないで
ください。内容物が溢れ出たり、漏れたりして、ヤケドやものを汚す
原因になります。



6 おかず容器におかずをいれます。

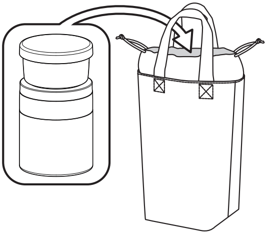
火を通したおかずは、冷ましてから入れます。

フタを矢印の方向にまわして確実に閉めてください。
閉めた後は、フタが確実に閉まっていることを確認してください。



ご使用方法

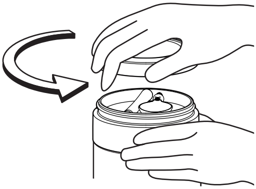
7 専用バッグに収納します。



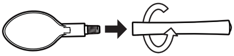
図のようにして、フードポットとおかず容器を専用バッグに
収納します。

※フードポット・おかず容器はフタを上にして収納
してください。

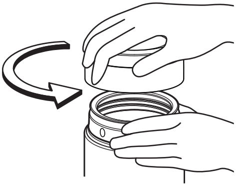
8 フタを開けます。



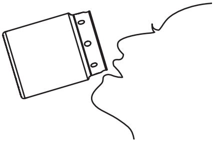
1.本体を立てた状態で、本体・フタを押さえて、
フタキャップを矢印方向にまわして開けます。



2.スプーンの持ち手と本体を矢印の方向にまわして
確実にしめてください。使用する前に、確実に
しまっていることを確認してください。



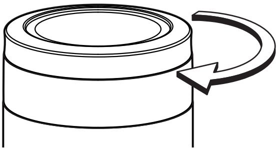
3.本体を立てた状態で、本体を押さえて、
フタを矢印方向にまわして開けます。



4.飲み口に口をつけて、ゆっくり傾けながら
飲み物を飲みます。または、スプーンですくいながら
食べます。

注 熱い飲食物を入れた場合は、ヤケドにご注意ください。
特に直接飲む場合は、ゆっくり傾け、少しずつ内容物が
出るようにご注意ください。

9 食べ終わったら。

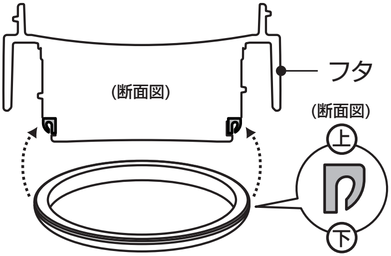


本体を立てた状態で、フタを矢印の方向に
まわして確実に閉めてください。
閉めた後は、せんユニットが確実に閉まって
いることを確認してください。

パッキンの取り付け方・はずし方

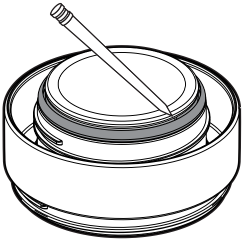
■ フタパッキン（パッキン小）の取り付け方

上下の方向を確認し、フタに正しく取り付けてください。
取り付けた後は、パッキンが浮かないようにまんべんなく指で押してください。



フタパッキンのはずし方

つまようじ等でフタのみぞ部より外してください。
パッキンを破損しないように注意してください。

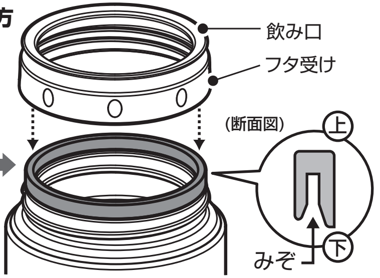


■ 飲み口パッキン（パッキン大）の取り付け方

みぞのない面を上向きにして取り付けてください。
上下の方向を確認し、パッキンのみぞに本体先端部をあわせてください。取り付けた後は、パッキンが浮かないようにまんべんなく指で押してください。

みぞのない面を上向きにして取り付けてください。

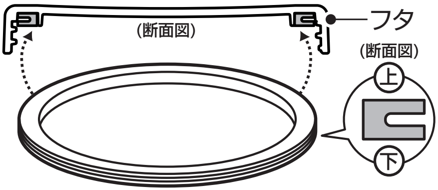
飲み口パッキンの取り外しの際に紛失及び未装着に注意してください。



注 本体に直接パッキンを装着してから、飲み口を取り付けてください。

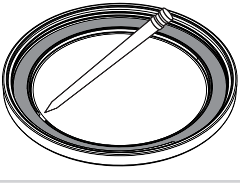
■ おかず容器フタパッキンの取り付け方

上下の方向を確認し、フタに正しく取り付けてください。取り付けた後は、パッキンが浮かないようにまんべんなく指で押してください。



フタパッキンのはずし方

つまようじ等でフタのみぞ部より外してください。
パッキンを破損しないように注意してください。



お手入れについて

●お手入れはぬるま湯でうすめた食器用洗剤を使用してください。
●ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。
●長期間ご使用にならないときは、きれいに洗って汚れを落とし、十分乾燥させ、高温多湿の場所をさけて保存してください。

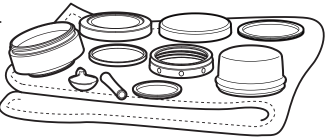
本体のお手入れ

ボトルブラシやスポンジできれいに洗い、汚れを落とした後、流水でよくすすぎ、十分に乾燥させてください。
本体内側の汚れが落ちない場合、酸素系漂白剤(目安30分)を使用してください。

注 酸素系漂白剤を使用する際は、本体はせんユニットで密閉しないでください。本体の内圧が上がり、せんユニットが破損する恐れがあり危険です。酸素系漂白剤の注意事項をよくお読みの上、正しくご使用ください。

注 本体は水中に放置しないでください。

せんユニット・おかず容器・スプーンのお手入れ



それぞれきれいに洗い、水分を拭きとって、十分乾燥させてください。
長期間ご使用にならない場合は、きれいに洗って汚れを落とし、十分乾燥させてから保存してください。
洗浄時にパッキンを外す場合は、パッキンの付け間違いのないようにパッキンの上下を確認してください。

専用バッグのお手入れ

布をお湯にひたし、固くしぼって拭いてください。丸洗いはしないでください。

お手入れ上の注意

●お手入れの際は次の点を必ず守ってください。

■本体・せんユニット・おかず容器・スプーンは煮沸しないでください。

熱により部品が変形し、漏れてヤケドやものを汚す原因にもなり危険です。

■食器用洗浄機・食器用乾燥機は使用しないでください。

熱により部品が変形し、漏れてヤケドやものを汚す原因にもなり危険です。

■本体は水中に放置しないでください。

本体と底の隙間に水が浸入し、サビや保温・保冷不良などの原因になります。

■塩素系漂白剤、シンナー、ベンジン、金属タワシ、みがき粉、クレンザーなどは使用しないでください。

サビやキズ、保温・保冷不良の原因になります。

■本体外側には漂白剤を使用しないでください。

本体塗装・注意シールなどの剥がれの原因になります。

⚠警告

●乳幼児の手の届くところには置かないでください。
ヤケドの原因となり危険です。

⚠使用上の注意

●熱い飲食物を入れた場合、次の点を必ず守ってください。

■傾けた状態、または顔を近づけた状態でフタを開けないでください。
内圧が上がり、飲食物が急激に出たり、飛散したりしてヤケドの原因になり危険です。

■本体を急に傾けないでゆっくり飲んでください。
急に傾けると、飲食物が勢いよく出てヤケドなどの原因になり危険です。

●飲食物を保温したい場合は、よく温めたものを入れてください。

品質表示上の保温効力とは、室温20度±2度において、製品に熱湯をせんユニット下端まで満たし、縦置きにした状態で、その温度が95度±1度になった時からせんユニットを付けた状態で1時間及び6時間放置した場合の温度です。

●せんユニットが確実に閉まっている事を確認してください。

閉めかたが不十分ですと、傾けた場合飲食物が漏れ、ヤケドやものを汚す原因になり危険です。
また、せんユニットは真っ直ぐに閉めてください。

●飲食物の保温・保冷以外に使用しないでください。

●ストーブやコンロ、などの火気に近づけないでください。

ヤケドや製品の変形、変色の原因になります。

●電子レンジでの加熱はしないでください。

火花が飛び危険です。

●冷凍庫には入れないでください。

●フタ及び飲み口パッキンは正しく取り付け、確実に閉めてください。

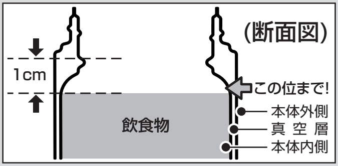
飲食物が漏れ、ヤケドやものを汚す原因になり危険です。
フタ及び飲み口パッキンの取り外しの際には紛失及び未装着に注意してください。

●せんユニットを開閉するときは、本体を傾けたり揺らしたりしないでください。

飲食物が溢れ出す原因になります。また漏れて、ヤケドやものを汚す原因になり危険です。

⚠ 使用上の注意

●飲食物の量は右記図の位置までにしてください。
入れすぎるとフタが開かなくなったり、せんユニットを閉めたときに飲食物が溢れ出す原因になります。
また、使用中に漏れ、ヤケドやものを汚す原因になり危険です。



●飲食物を入れた後、本体を逆さにして漏れのないことを確認してください。

●次のものは絶対に入れないでください。

■ドライアイス・炭酸飲料水
内圧が上がり、せんユニットが開かなくなったり、飲食物が噴き出したり、せんユニットが破損して飛散することがあり危険です。

●飲食物を入れた状態で長く放置しないでください。
本体内側にはステンレス鋼を使用していますが、長い時間放置すると、成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、フタ・せんユニットが開かなくなったり、飲食物が噴き出したり、せんユニットが破損して飛散することがあり危険です。

●飲食物はできるだけ早くお召し上がりください。
腐敗の原因となります。6時間以内を目安に一度にお召し上がりください。

●においの強いものを入れると、本体やパッキンににおいが残る場合がありますが、品質上問題はありません。
「お手入れについて」に従って汚れやにおいを落とした後、十分に乾燥させてください。

●本体及びせんユニットに長時間飲食物が付着すると、色移りする場合がありますが、品質上問題ありません。
「お手入れについて」に従って汚れやにおいを落とした後、十分に乾燥させてください。

●車の中など、高温になるところに放置しないでください。

●本体の口元に熱いヤカンなどをあてないでください。
口元の変形・キズ、転倒してヤケドなどの原因となり危険です。

●落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないでください。
変形や割れ、保温・保冷不良の原因になります。またせんユニットの破損原因になります。

⚠ 使用上の注意

●改造・修理・分解は絶対にしないでください。
故障、事故の原因となり危険です。

●おかず容器本体以外は電子レンジで使用できません。

●バックなどに入れるときは、本体を縦に置いてください。
万一の漏れを防ぎます。

●パソコン・デジタルカメラ等の精密機器と一緒に持ち運ぶのはやめてください。
万一、内容物が漏れた場合、精密機器の破損・故障の原因になる恐れがあります。

●運転中は危険ですので使用しないでください。
車内や衣服を汚したり、ヤケドの原因となり危険です。また、運転者の場合は運転への注意が散漫になり非常に危険です。
ドリンクホルダーに入れる場合は、あらかじめホルダーの強度を確認してからご使用ください。
強度や固定が不十分ですと破損したり、外れて落下の恐れがあり危険です。

●お手入れの際、次の点を必ず守ってください。
■せんユニットは煮沸しないでください。
熱により部品が変形し、漏れてヤケドやものを汚す原因になり危険です。
■食器用洗浄機・食器用乾燥機は使用しないでください。
熱により部品が変形し、漏れてヤケドやものを汚す原因になり危険です。

●ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。
お手入れが不十分だと、におい、汚れ、パッキンの変色の原因となる恐れがあります。

●「お手入れについて」に従って汚れやにおいを落とした後、十分に乾燥させてください。

せんユニット・おかず容器のパッキン類は消耗品です。
1年を目安にご確認いただき、作動がスムーズでなかったり、
表面にザラつきや損傷がある場合は交換してください。

⚠ 専用バッグ使用上の注意

●この製品には温熱･冷却効果はありません。

●ドライアイスは使用しないでください。

●直接、水や氷を入れないでください。水漏れの原因になります。

●火気や暖房器具などの近くに放置しないでください。直射日光のあたる場所や、
高温になる場所に長時間放置しないでください。軟化･変形･変色の原因になります。

●生地がぬれているときや、摩擦の影響で生地の色が洋服などに付くことが
ありますのでご注意ください。

●先のとがったものや、硬いものなどでこすると破れる場合があります。

●使用中に、商品に破損や変形が生じたときは、使用を中止してください。

●ご使用後は、内容物を全て取り出し、よく乾燥させてから、
湿気のない所に保存してください。

●汚れを落とす場合は、水や中性洗剤を付けた布を固く絞り、たたくように
汚れを落としてください。
シンナーやベンジンなどの有機性の溶剤は、生地の色落ちや変色などの原因になりますので、
絶対に使用しないでください。また商品の丸洗いはしないでください。

●取っ手を持って振り回したり、投げたりしないでください。

困ったときのQ&A

Q 飲食物が漏れたときは?

A

1. せんユニットがしっかり閉められているか確認してください。
2. 飲食物を入れすぎていないか確認してください。飲食物の量は適正な位置までにしてください。
3. パッキンが確実に取り付けられているか確認してください。
   上下の方向を確認し、本体に正しく取り付けてください。
   取り付けた後は、パッキンが浮かないようにまんべんなく指で押してください。

Q 本体内側が変色したときは?

A

1. 汚れが付着している場合、食器用洗剤をつけたスポンジ等でよく洗ってください。
2. 斑点状の赤いサビが付着している場合
   水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%ほどに薄めたぬるま湯を本体内側に入れ、約30分後に柔らかいスポンジ等でよく洗ってください。
3. ザラザラしたものが付着している場合
   水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。クエン酸を10%ほどに薄めたぬるま湯を本体内側に入れ、せんユニットを取り付けずに約3時間後に柔らかいスポンジ等でよく洗ってください。

Q 保温・保冷が効かないときは?

A

1. 熱い(冷たい)飲食物をいれているか確認してください。本体に少量の熱湯(冷水)を入れ、数分間予熱(予冷)すると保温(保冷)に効果的です。
2. 固形の具材(例えばじゃがいも等)は、中までしっかりとあたためてください。
3. 飲食物の量が少なくないか確認してください。飲食物の量を多くすると効果的です。

Q 異臭がするときは?

A

本体内側、せんユニットに汚れが付着していないか確認してください。ご使用後は、きれいに洗い十分に乾燥させてください。また、ご使用後は必ずお手入れしてください。

製品仕様

部品名		材料の種類
本体	内びん	ステンレス鋼
	胴部	ステンレス鋼 (アクリル樹脂塗装)
せんユニット	フタ	ポリプロピレン (発泡スチロール内蔵)
	飲み口・フタキャップ	ポリプロピレン
	パッキン	シリコン
スプーン		ABS樹脂
おかず容器	本体・フタ	ポリプロピレン
	パッキン	シリコン

部品の購入について

●交換部品は必ず当社の純正部品をご使用ください。
●ご購入は下記ホームページからご注文いただくか当社お客様相談室までお申し込みください。

ご購入方法

1 インターネットで購入する場合

http://www.do-cooking.com/index.html にアクセスし、ご購入ください。

ドウシシャのパーツ購入は
Do-cooking 情報ページ Do-cooking 検索
http://www.do-cooking.com/index.html
携帯からはこちら

2 代金引換にて購入する場合

商品品番・本体色・部品名・数量を確認の上、当社お客様相談室までご連絡ください。

＊代金引換にて購入される場合は、「宅配便」でお送りします。
＊代金引換にて購入される場合は、送料は¥550(税別)です。
　宅配便で沖縄県、一部地域・離島へのご注文は送料を実費請求とさせていただきます。
＊部品価格・送料は予告なく変更することがあります。ご了承ください。
＊切手でのご購入はできませんのでご了承ください。
＊製品のデザインや仕様は、予告なく変更することがあります。
　それに伴い、部品の色や形状のご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。
＊当社の個人情報の取り扱い方針につきましては、当社ホームページへ掲載しております
　プライバシーポリシー（http://www.doshisha.co.jp/policy/）をご覧ください。

お問い合わせ

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。品質には万全を期しておりますが、万一不具合や、お気付きの点がございましたら、ご使用にならずに、当社お客様相談室までご連絡ください。

株式会社ドウシシャ

お客様相談室
〒556-0023　大阪市浪速区稲荷1-6
0120-104-481
【受付時間　9:00～17:00　祝日以外の月～金】
※商品名、品番をご確認の上、お電話を頂きますようお願い致します。
※お電話を頂いた際にお話し頂く情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させて頂きますので、ご了承ください。

www.doshisha.co.jp

MADE IN CHINA